

## 道徳の時間で活用する ～相互理解、寛容～

下関市立角倉小学校 瀧口 稔

### 1 本場面におけるポイント

- 事前アンケートの結果を導入で生かす。
- 主発問を端的に示すことで、ねらいとする道徳的価値への気付きを促す。
- 本時のめあてを導入で示し終末で確認することで、日常生活での実践意欲につなげる。

### 2 授業の実際

#### 1 主題名 けんきょに、広い心をもって

「ブランコ乗りとピエロ」私たちの道徳P84～87

#### 2 ねらい

謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとする心情を育てる。

#### 3 展開

##### (1) 導入 これまでの経験について話し合う

教師：意見が合わなくて自分の思いどおりにいかない時、どんな思いをもちますか。  
A児：調子に乗るなっていう気持ちをもつと思います。  
教師：みんなのアンケートには「何でそうなん、ワッツ？」と書いている人がいたよ。  
B児：そうそう、意味わからんし、ワッツ？って私も思う。  
教師：意見が合わない人とこれからも出会うよね。その度に「ワッツ？」って言うの。

##### □ 指導上の留意点・支援

導入では、意見が合わない人がいて自分の思いどおりにいかない時の気持ちについて意見交換を行った。「まあいいや。」と考える子どもがいる一方で、相手に対するいら立ちを表出した子どもも多くいた。そこで、「考え方が違う人とも、気持ちよく生活していくためには、どんなことが大切なのか。」と投げかけ、資料に出合わせた。

##### (2) 展開 資料を読んで、謙虚な心について話し合う

教師：どうして一緒にいることが少しもつらくなかったのでしょうか。  
C児：お互い、自分だけがスターだという気持ちを捨てたからだと思います。  
D児：そんな気持ちを二人とも捨てたから、ピエロとサムがお互いを認め合えるようになったのだと思います。  
E児：二人で張り合う必要がなくなったからです。  
B児：ピエロは勘違いしていて、サムは観客を楽しませるためだと分かったからです。  
教師：あなたたちが話し合った結果はこういうこと？二人とも心が変わった、間違いないですか？（はい）サムはどうなった？（スターの気持ちを捨てた）そ



うだね。疲れ切ったサム姿について書いていた人がいたよ。Fさん。  
 F児：ピエロがサムの疲れ果てた姿を見て、ピエロがサムのことを認め、お互いに自分だけがスターだという気持ちを捨てなければならないと思ったからです。

□ 指導上の留意点・支援

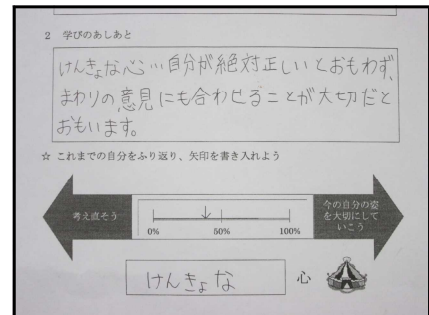
本資料は、互いに相手に対して素直になれなくなっているブランコ乗りとピエロの人間関係が描かれている。そこで、「どうしてそんな二人なのに、一緒にいることが少しもつらくなかったのか。」と投げかけ、その理由を書くよう促した。その後、グループで個々の考えを交流した上でグループとしての考えを全体で交流した。話し合いでは、二人とも自分勝手な気持ちを捨てたからお互いの心が変わったという考えに賛同の声が上がった。

(3) 終末 学習したことについて、自分を振り返る

教師：あなたが考える謙虚な心ってどんな心ですか？  
 G児：自分中心ではなく、みんなと合わせることが必要だなと思いました。  
 B児：広い心をもっていることだと思いました。  
 H児：自分のことを一番だと思わず、みんなのことを受け入れることができる心です。

□ 指導上の留意点・支援

終末では、「ピエロとサムはどうしてすてきな関係を築くことができたのか」と全体に問いかけ、そこには二人に謙虚な心があったことを教師から伝えた後に、謙虚な心とは何かを問うた。「自分のことを一番だと思わない。」という発表を受けて、教師から「自分のことを一番だと思わなければ、考え方の違う人とも気持ちよく生活することができそう？」と確かめると、多くの子どもたちがうなずいた。さらに、「これまでの自分」について、『謙虚な心』がどうだったか自分が考える尺度として書き表すよう伝えると、半数以上の子どもが50%前後の数値を書いていた。



3 実践を振り返って

事前アンケートで、価値にかかわる生活経験を問い、導入でその思いを全体に共有させたことで、「考え方の違う人とも気持ちよく生活していくためにはどうすればいいのか。」というめあてについて、本時で学んでいく必然性を生み出すことができた。また、主発問を端的に示したことで、二人の心の変容の要因について焦点を絞って互いの考えを伝え合うことができた。ただ、終末でもっと個々の生活経験を語らせる場を設定していれば、さらに日常生活での実践意欲につなげることができたのではないかと考える。

